

12	(地独)東京都健康 長寿医療センター	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター年度計画の実施(平成22年度)
事業概要	平成21年度から平成24年度までの4年間を計画期間とする中期計画を達成するため、平成21年度における実績及び経験を活かしつつ、平成22年度において取り組むべき事項を年度計画として定め、高齢者のための高度専門医療及び研究の充実・発展と経営基盤の改善と確立について着実に実施する。	
これまでの経過	平成21年4月1日： 地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター中期計画を策定し、さらに中期計画に基づき、平成21年度事業計画を策定した。 平成22年3月31日： 平成22年度事業計画を都へ提出。 平成22年6月29日： 平成21年度実績報告を都へ提出。 平成23年3月31日： 平成23年度事業計画を都へ提出。 定款、業務方法書、中期目標、中期計画及び年度計画はホームページで公表している。 (URL： http://www.tmg Hig.jp/outline01.html)	

【センター全体】

- 平成 22 年 4 月 ・新施設建設の実施計画に関するセンター内のヒアリングを実施した。
- 平成 22 年 6 月 ・平成 22 年度第 1 回理事会を開催し、平成 21 年度財務諸表・決算報告書・事業報告書に関する審議などを行った。
- 平成 22 年 7 月 ・平成 22 年度第 2 回理事会を開催し、理事会内規に関する審議等を行った。
・平成 22 年度第 3 回理事会を開催し、平成 21 年度業務実績評価に関する意見申し出に関する審議などを行った。
・「東京都独立行政法人評価委員会・平成 22 年度第 1 回高齢者医療・研究分科会」に出席し、平成 21 年度業務実績に関するヒアリングに参加した。
・センター新施設建設用地整備工事の工事発注について、公表を行った。
- 平成 22 年 8 月 ・外科医師、認定看護師、研究部門副所長を講師として、看護学生・看護職員を対象に、高齢者医療・看護セミナー「 - 血管再生治療と腹部大動脈瘤ステントグラフト内挿術 - 、さわやか失禁ケア、認知症患者の心を支える、高齢医療を支える研究」を開催した。
・センター新築工事の工事発注について、公表を行った。
- 平成 22 年 9 月 ・センター新築工事契約の公告に関する報告などを行った。
・平成 22 年度第 4 回理事会を開催し、新施設建設工事関係、人事案件などに関する審議を行った。
- 平成 22 年 11 月 ・平成 22 年度第 5 回理事会を開催し、人事案件に関する審議などを行った。
- 平成 22 年 12 月 ・センター新築工事の事業者を選定した。
・平成 22 年度第 6 回理事会を開催し、新築工事落札者に係る契約の締結に関する審議などを行った。
- 平成 23 年 2 月 ・平成 22 年度センター運営協議会を開催し、センターの事業報告を行い、外部委員から業務運営に関して意見及び助言を得た。
- 平成 23 年 3 月 ・平成 22 年度第 7 回理事会を開催し、平成 23 年度予算（案）・平成 23 年度年度計画（案）に関する審議などを行った。

【病院部門】

- 平成 22 年 5 月 ・「診療報酬改定等を踏まえた取組」を題材に、第 1 回経営改善委員会を開催した。
- 平成 22 年 6 月 ・シェフィールド大学（イギリス）看護助産学部、ロジャー・ワトソン教授を招聘し、センター職員及び看護学生を対象に、「認知症高齢者の摂食と栄養」の講演会を開催した。
- 平成 22 年 7 月 ・7：1 看護の届出、看護補助者の導入、画像の電子化（フィルムレス）及び検査開始時間の 8 時開始などにより、患者医療サービスの充実及び待ち時間短縮を図った。
・「看護師確保・離職防止対策」「在院日数短縮・新規患者増加策」を題材に、第 2 回経営改善委員会を開催した。
・地域医療連携の推進の一環として、認定看護師による医療従事者向け「電話相談窓口」を開設した。
・センター整形外科及び血管外科の医師を講師として、都民の方を対象に、第 1 回健康長寿いきいき講座「脚の痛み、膝の痛み」（後援：豊島区）を南大塚ホールにて開催した。
・センター育寿会（糖尿病患者会）とセンター糖尿病・代謝・内分泌科の共催で、医師や検査技師、糖尿病療養指導士である看護師及び栄養士を講師として、患者や家族の方などを対象に、平成 22 年度第 1 回糖尿病教室をセンターにて開催した。
・センターホームページに、看護部のページを新設した。
- 平成 22 年 9 月 ・センター眼科及び糖尿病・代謝・内分泌科の医師を講師として、都民の方を対象に、第 2 回健康長寿いきいき講座「眼のかすみ - 眼の病気、糖尿病 - 」(後援：練馬区)を練馬文化センターにて開催した。
・区西北部糖尿病医療連携検討会を井藤センター長を委員長に開催した。
- 平成 22 年 10 月 ・「患者満足度」「待ち時間対策等患者サービス向上策」を題材に第 3 回経営改善委員会を開催した。
・センターと板橋区医師会の共催で中高年のための健康講座「いつまでも自分の脚で歩けるために」(後援：板橋区)を板橋区立文化会館にて開催した。
・板橋区感染症危機管理協議会を立ち上げた。

- 平成 22 年 11 月・センター消化器内科及び外科の医師を講師として、都民の方を対象に、第 3 回健康長寿いきいき講座「おなかの痛み、腸の痛み」(後援：北区)を滝野川会館大ホールにて開催した。
- ・急性期看護補助体制加算(50対1)取得に向け、看護補助者を大幅に拡充し、各病棟等へ配置した。
 - ・板橋区医師会との連携協議会を開催した。
 - ・東京都健康長寿医療センターにおける薬剤管理に関する検討会を立ち上げた。
- 平成 22 年 12 月・対面式の外来予約受付を設置し、患者サービス向上を図った。
- ・入院時食事療養提供業務及び食堂・喫茶運營業務委託の事業者を選定した。
 - ・急性期看護補助体制加算(50対1)に関する届出を行った。
- 平成 23 年 1 月・「電子カルテ導入計画」「DPC 分析」等を題材に第 4 回経営改善委員会を開催した。
- ・区西北部糖尿病医療連携検討会を井藤センター長を委員長に開催した。
- 平成 23 年 3 月・福島から被災透析患者を受け入れた。
- ・当センターの医師を仙台市立病院へ派遣した。

【研究部門】

- 平成 22 年 4 月・都民を対象に、平成 22 年度科学技術週間行事として、センター研究員による講演会「心の健康を求めて - うつ病から PTSD まで、基礎科学は何を教えるか - 」を養育院講堂にて開催するとともに、センター研究部門見学を行った。
- 平成 22 年 6 月・各研究の進行管理、研究テーマ、内容の共有化を図ることを目的に、平成 22 年度第 1 回研究進行管理委員会を開催した。
- 平成 22 年 7 月・センター研究員を講師として、都民の方を対象に、第 109 回老年学公開講座「いくつになっても介護予防」(後援：練馬区)を練馬文化センターにて開催した。
- 平成 22 年 9 月・センター研究員を講師として、都民の方を対象に、第 110 回老年学公開講座「いくつになっても介護予防」(共催：北区、(社)東京都老人クラブ連合会)を北とぴあにて開催した。
- 平成 22 年 10 月・センター研究員等を講師として、都民の方を対象に、第 111 回老年学公開講座「好腎好日～腎臓をいたわり、長生きする～」(共催：文京区)を文京シビックホールにて開催した。
- 平成 22 年 11 月・センター研究員及び医員を講師として、都民の方を対象に、第 112 回老年学公開講座「世界を広げる知覚～見る、聴く、味わう喜びをいつまでも～」(共催：調布市)を調布市グリーンホールにて開催した。
- 平成 22 年 12 月・センター研究員及び医員を講師として、都民の方を対象に、第 113 回老年学公開講座「世界を広げる知覚～見る、聴く、味わう喜びをいつまでも～」(共催：板橋区)を板橋区立文化会館にて開催した。
- ・世界の代表的な研究機関としてのネットワーク(IAGG/WHO RESEARCH NETWORK)に、日本老年医学会の推薦を得て登録した。
- 平成 23 年 1 月・臨床部門と研究部門との間で成果と課題を共有し、研究所の成果を臨床応用につなげていくため、平成 22 年度第 1 回トランスレーショナル・リサーチ推進会議を開催した。
- 平成 23 年 2 月・アジア各国との研究協力体制を強化するため、高齢社会・高齢化に係る第 2 回国際ワークショップを開催した。
- ・センター研究員等を講師として、都民の方を対象に、第 114 回老年学公開講座「好腎好日～腎臓をいたわり、長生きする～」(後援：調布市)を調布市グリーンホールにて開催した。
- 平成 23 年 3 月・センター研究員を講師として、区市町村の職員を対象に「介護予防推進セミナー」を開催し、研究成果の講義を行った。
- ・外部委員を含めた自然科学系及び社会科学系外部評価委員会を開催した。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">今後の見通し</p>	<p>高齢者のための高度専門医療及び研究を行い、都における高齢者医療及び研究の拠点としての役割を果たすため、これまで培ってきた豊富な臨床試験やノウハウを活かして高齢者の特性に配慮した医療の確立を目指していく。また、公開講座・セミナーや相談窓口を通して地域社会に成果・ノウハウを発信していく。</p> <p>病院部門は職種の枠を超えたチーム医療の推進、救急患者の受け入れ態勢強化により急性期病院としての医療の充実を図る。また、医療連携の一層の強化に努め、地域全体で継続的な一貫性のある医療を目指していく。</p> <p>研究部門は高齢者の健康維持や老化・老年病の予防法・診断法の開発等の研究を支える観点から老化のメカニズムや老化制御などの基盤的研究を実施するとともに、高齢者の健康長寿と福祉に関して、疾病予防や介護予防の視点から、疫学調査や社会調査などによる社会科学的な研究を実施する。</p> <p>病院・研究所併設のメリットを最大限に生かし、相互の連携を一層強化しつつ新たな高齢医療を展開していく。</p> <p>中期計画に基づき、各事業を実施するとともに、公式ホームページ等において、実施状況を公表する。</p>		
<p>問い合わせ先</p>	<p>地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター 一経営企画局経営企画課</p>	<p>電話</p>	<p>03 (3964) 1141</p>